

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 10 月 3 日 (2013.10.3)

【公開番号】特開 2012-100239 (P2012-100239A)

【公開日】平成 24 年 5 月 24 日 (2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報 2012-020

【出願番号】特願 2011-2209 (P2011-2209)

【国際特許分類】

H 0 4 R 5/027 (2006.01)

H 0 4 R 1/32 (2006.01)

【F I】

H 0 4 R 5/027 Z

H 0 4 R 1/32 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 8 月 21 日 (2013.8.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筐体は無指向性マイクロフォンと指向性マイクロフォンとが配備された録音装置において、指向性マイクロフォンは、筐体の内部へ向けて押し込まれた第 1 の位置と筐体の表面から突出した第 2 の位置との間で往復移動が可能であると共に、第 1 の位置と第 2 の位置のそれぞれに設定することが可能であり、第 2 の位置に設定された指向性マイクロフォンの後方にはキャンセル空間が形成され、該キャンセル空間は、指向性マイクロフォンが第 1 の位置から第 2 の位置へ移動することによって筐体外部に通じ、

指向性マイクロフォンは、前記筐体に往復移動可能に係合するマイクロフォンホルダーにより保持され、指向性マイクロフォンとマイクロフォンホルダーとによって指向性マイクロフォンユニットが構成され、該マイクロフォンホルダーの内部に前記キャンセル空間が形成され、

前記マイクロフォンホルダーの側壁には、前記キャンセル空間を覆うメッシュ部を有する保護カバーが取り付けられており、指向性マイクロフォンが第 1 の位置から第 2 の位置へ移動することによって、前記保護カバーのメッシュ部が前記筐体の外側へ露出することになる、録音装置。

【請求項 2】

更に、指向性マイクロフォンが第 1 の位置と第 2 の位置の間で往復移動することによって切り換えられるスイッチと、該スイッチの状態に応じて指向性マイクロフォンと無指向性マイクロフォンをそれぞれオン/オフする制御回路とを具え、該制御回路は、指向性マイクロフォンが第 1 の位置に設定された状態では指向性マイクロフォンをオフとする一方、無指向性マイクロフォンをオンとし、指向性マイクロフォンが第 2 の位置に設定された状態では指向性マイクロフォンをオンとする一方、無指向性マイクロフォンをオフとする請求項 1 に記載の録音装置。

【請求項 3】

指向性マイクロフォンが第 1 の位置に設定されているか第 2 の位置に設定されているかに応じて、指向性マイクロフォンと無指向性マイクロフォンの感度が切り換えられる請求項 1 又は請求項 2 に記載の録音装置。

【請求項 4】

前記制御回路は、指向性マイクロフォンと無指向性マイクロフォンに設定すべき感度が規定されている複数の感度テーブルを有し、使用者の操作によって 1 つの感度テーブルを選択することが可能であって、予め選択された 1 つの感度テーブルに基づいて、指向性マイクロフォン又は無指向性マイクロフォンに所定の感度が設定される請求項 1 乃至請求項 3 の何れかに記載の録音装置。